EpsonNet Printの使い方

NPD4146-00

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには以下のような意味があります。

!重要　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品が損傷したり、本体、ドライバーやソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® operating system Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 95」、「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows NT4.0」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」、「Windows Vista」、「Windows Server 2008」、「Windows 7」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

商標

EPSON および EXCEED YOUR VISON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
EPSON ステータスモニタはセイコーエプソン株式会社の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

もくじ

EpsonNet Printの概要

EpsonNet Print は、ネットワークに接続したエプソン製プリンターに、Windows から TCP/IP 直接印刷をする時に使うソフトウェアです。次のような特長があります。

IP アドレスの自動追従

ネットワークインターフェイスが、サーバーやルーターの DHCP 機能を使って IP アドレスを取得しているとき、その後 IP アドレスが変わっても、EpsonNet Print が IP アドレスを自動追従します。

Windows 95/Windows 98/Windows Me での LPR 印刷

LPR 印刷を標準サポートしていない Windows に EpsonNet Print をインストールすることで、プリントサーバーを介さずに LPR による直接印刷ができるようになります。

ルーターを越えた LPR プリント

ルーターを越えた場所にあるプリンター（別セグメントのプリンター）を LPR プリンターとして使用することができます。

印刷速度の選択

印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 LPD/RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選ぶことができます。

ステータスの表示

Windows のスプーラー画面上部にエプソン製プリンターのステータスを表示します。

セットアップの流れ

EpsonNet Print をお使いいただくための、作業の流れを説明します。

1　EpsonNet Print のインストール

コンピューターに EpsonNet Print をインストールします。
☞ 7 ページ「EpsonNet Print のインストール」

2　コンピューターの設定

Windows 95/Windows 98/Windows Me

LPR 印刷するプリンターのプリンタードライバーを任意のポート（LPT1 など）を選択しインストールします。
プリンタードライバーのインストール完了後、プリンターのプロパティーを開いて、プリンターポートの設定を、EpsonNet Print のインストールで作成されたポート「EpsonNet Print Port」に変更します。
詳しくは、次の手順を参照してください。

①プリンタードライバーのインストール
☞ 10 ページ「プリンタードライバーのインストール」
②プリンターポートの作成と設定変更
☞ 11 ページ「プリンターポートの作成と設定変更」

左記以外の Windows

「EpsonNet Print Port」を作成してから、LPR 印刷するプリンターのプリンタードライバーをインストールします。
詳しくは、次の手順を参照してください。

①プリンターポートの作成
☞ 14 ページ「プリンターポートの作成」
②プリンタードライバーのインストール
☞ 17 ページ「プリンタードライバーのインストール」

プリンターを共有する手順については、プリンター本体に添付されているマニュアルを参照してください。

Windows 95/Windows 98/Windows Me 環境で使用する場合、EpsonNet Print は、プリンターを使用するすべてのコンピューター（Windows 95/Windows 98/Windows Me）にインストールしてください。

3　EpsonNet Print の設定

必要に応じて EpsonNet Print から印刷データを送信する方法などを設定します。
☞ 21 ページ「印刷方式の設定」

システム条件

EpsonNet Print は、次の環境で動作します。

対象プリンターおよびネットワークインターフェイス

EpsonNet Print で印刷可能なプリンターおよびネットワークインターフェイスにつきましては、エプソンのホームページを参照してください。

アドレス	http://www.epson.jp/

動作環境

OS	• Windows 95 OSR2（Internet Explorer 5 以上） • Windows 98 • Windows Me • Windows NT4.0（Service Pack 6 以降） • Windows 2000（Service Pack 4 以降） • Windows XP（Service Pack 3 以降） • Windows Server 2003（Service Pack 2 以降） • Windows Vista（Service Pack 2 以降） • Windows Server 2008（Service Pack 2 以降） • Windows Server 2008 R2 • Windows 7
CPU	Pentium Ⅱ 400MHｚ 以上
ハードディスク	20MB 以上の空き容量
メモリー	64MB 以上

※　お使いのプリンターにより対応 OS は異なります。プリンターの対応 OS はプリンターのマニュアルを参照してください。

- EpsonNet DirectPrint や旧バージョンの EpsonNet Print とは共存インストールできません。
  EpsonNet DirectPrint の Version2.x を使用中のときは、EpsonNet Print をインストールすると、警告のメッセージが表示されます。画面の指示に従って EpsonNet DirectPrint Version 2.x をアンインストール（削除）してください。
  7 ページ「EpsonNet Print のインストール」手順 4
- Windows 95/Windows 98/Windows Me 以外の Windows は、EpsonNet Print をインストールしなくても、Windows 標準 LPR を使用して TCP/IP 直接印刷ができます。ただし、IP アドレスを自動追従やステータスの表示など、本ソフトウェア固有の機能は使用できません。

EpsonNet Printのインストール

EpsonNet Print のインストール方法を説明します。
EpsonNet Print をインストールすると新しいプリンターポート（EpsonNet Print Port）が作成され、このポートを使うことで Windows 95 など標準で LPR ポートを持たない Windows でもネットワーク直接印刷ができるようになります。

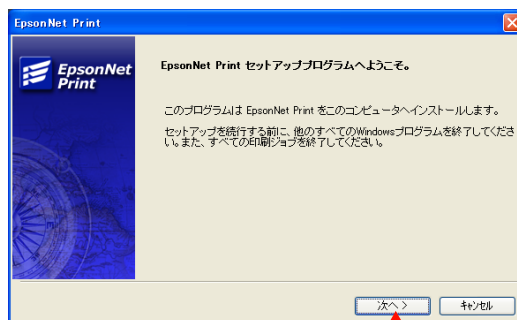
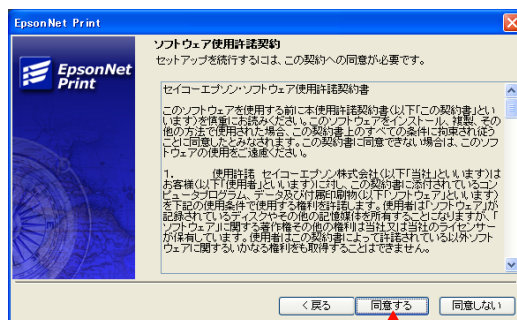
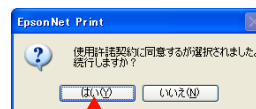
Windows 95/Windows 98/Windows Me 以外の Windows にインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

エプソンのホームページからソフトウェアをダウンロードした場合の手順で説明します。プリンターに同梱のソフトウェア CD-ROM からインストールする場合は、ソフトウェア一覧から本ソフトウェアを選択後、手順 3 から続けてください。

1 ダウンロードした圧縮ファイルを解凍します。
［Enpj.exe］ファイルが生成されます。

2 ［Enpj.exe］をダブルクリックします。
インストーラーが起動します。

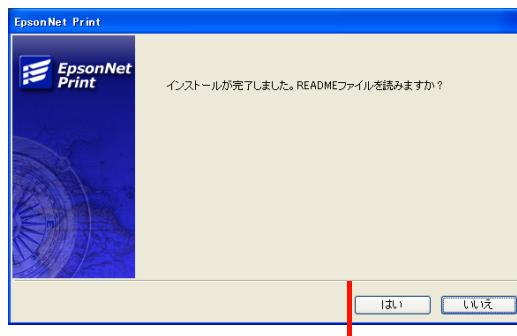
Windows Vista/Windows 7：
［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは、［続行］または［はい］をクリック

3 ［次へ］をクリックします。

4 ［ソフトウェア使用許諾契約］画面の内容を確認して、［同意する］をクリックします。
確認画面が表示されますので、［はい］をクリックしてください。

EpsonNet DirectPrint の Version 2.x がインストールされているときは、インストールの続行を確認する画面が表示されます。［OK］をクリックすると、EpsonNet DirectPrint Version 2.x をアンインストールしてから、インストールを続行します。

5 ［アプリケーションのインストール］画面の内容を確認して、［インストール］をクリックします。

インストール画面が表示され、インストールが始まります。

> **！重要**
> - 旧バージョンの EpsonNet Print がインストールされている場合は、上書きインストールを確認する画面が表示されます。［OK］または［はい］をクリックしてください。
> - 同じバージョンの EpsonNet Print がインストールされている場合は、インストールの終了を確認する画面が表示されます。［OK］をクリックしてください。

6 README ファイルを読む場合は［はい］、読まない場合は［いいえ］をクリックします。

再起動を促す画面が表示されたときは、コンピューターを再起動させてから次の手順へ進んでください。

以上で終了です。

次にコンピューターの設定をします。

☞ 9 ページ「プリンターの接続と設定」

プリンターの接続と設定

EpsonNet Print のインストールが終了したら、プリンタードライバーのインストールとポートの設定をします。

TCP/IP 設定の確認

1 **設定に使うコンピューターに、TCP/IP が正しく設定されていることを確認します。**

2 **ネットワークインターフェイスに、IP アドレスが正しく設定または割り当てられていることを確認します。**

ネットワークインターフェイスの IP アドレスを固定したいときは、プリンターの操作パネルやネットワークインターフェイス（オプション）に添付の設定ソフトウェアを使用します。ネットワークインターフェイスの IP アドレスの設定方法については、プリンター本体やネットワークインターフェイスカードに添付されているマニュアルを参照してください。

Windows 95/Windows 98/Windows Me での設定での設定

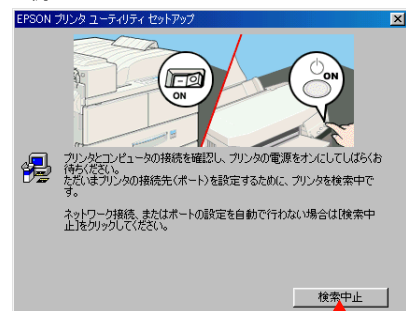
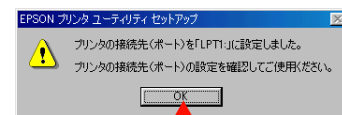
プリンタードライバーをインストールした後、そのドライバーに対して EpsonNet Print Port を作成します。
ここでは Windows 98 の画面で説明します。

プリンタードライバーのインストール

1 **Windows を起動して、プリンターに同梱のソフトウェア CD-ROM をコンピューターにセットします。**

2 **表示される画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールします。**
プリンタードライバーのインストール方法については、プリンターに添付のマニュアルを参照してください。

3 **右記のような画面が表示されたときは、[検索中止] または [キャンセル] をクリックしてください。**
EpsonNet Print を使用するときは、プリンターポートの設定を手動で行うため、設定は不要です。

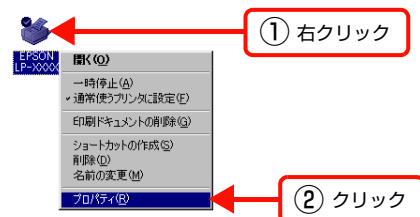
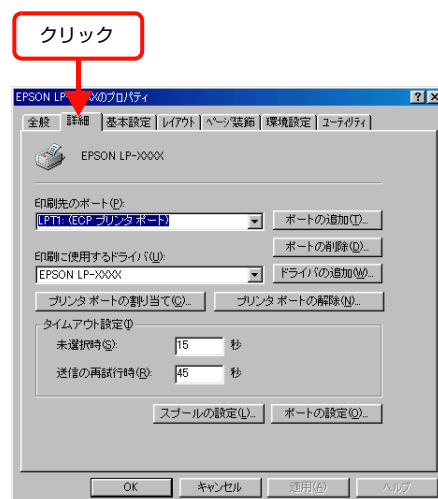
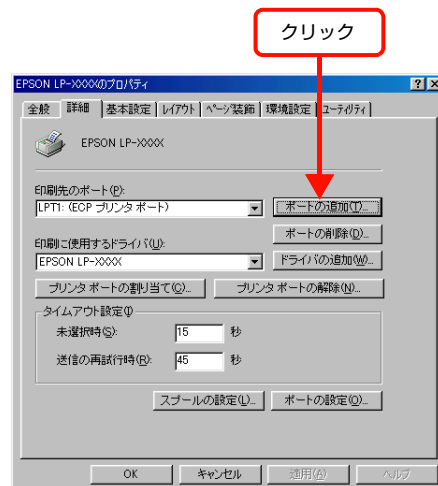
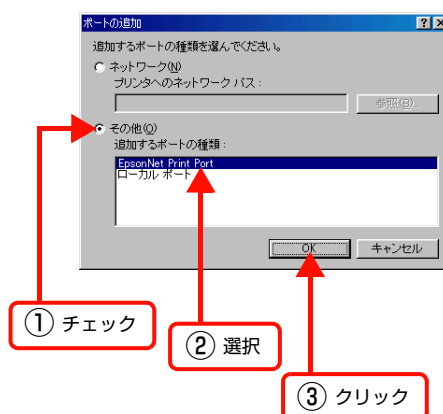
<例>

[検索中止] または [キャンセル] をクリックすると、右のような画面が表示されることがあります。[OK] をクリックしてください。

<例>

プリンタードライバーのインストールが終了したら、LPR 印刷をするためにプリンターポートの設定を変更します。
この設定をしないと、EpsonNet Print で印刷できませんので、必ず設定してください。

プリンターポートの作成と設定変更

1 ［スタート］ー［設定］ー［プリンタ］の順にクリックします。

2 インストールされたプリンターを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

3 表示された画面の［詳細］タブをクリックします。

4 ［ポートの追加］をクリックします。
［ポートの追加］画面が表示されます。

5 ［その他］にチェックを付け、［EpsonNet Print Port］を選択して、［OK］をクリックします。
［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］画面が表示されます。

6 プリンターをクリックして、[次へ] をクリックします。

プリンターが表示されないときは、プリンターおよびプリントアダプターの電源が入っているか確認して［再検索］をクリックするか、［ポート直接入力］をクリックしてアドレスを指定してください。

参考

- ［ポート直接入力］の詳細は、以下を参照してください。
  ☞ 20 ページ「アドレスを直接指定」
- 別セグメントのネットワークプリンターを指定するときは、［ネットワーク設定］をクリックして設定します。
  ☞ 19 ページ「探索方法の変更」
- ［ネットワーク設定］をクリックして設定を変更したときやポートの追加中にプリンターの電源を入れたときは、［再検索］をクリックしてください。

7 画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。

［ポートタイプ選択］でポートタイプを選択できます。通常変更する必要はありません。各項目の説明は下表を参照してください。

項目名		内容
［ポートタイプ選択］リスト		作成するポートのタイプを選択できます。通常は変更の必要はありません。 ネットワークインターフェイスの設定に応じて、以下の項目が選択できます。
	IP アドレス（自動）	使用するコンピューターとプリンターが同一セグメント内にあるときに選択できます。ネットワークインターフェイスの［IP アドレスの取得方法］が［自動］のときに選択することをお勧めします。 ネットワークインターフェイスの IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピューターのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス（固定）	ネットワークインターフェイスが固定アドレスのときに選択することをお勧めします。
	DNS 登録名	DNS サーバーにネットワークインターフェイスのホスト名を登録しているときに選択できます。
	MS Network	Microsoft ネットワーク共有（Net BEUI）で使用しているときに選択できます。
ポート名		［ポートタイプ選択］で選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス（自動）]　：ホスト名（ネットワークインターフェイス名 EPXXXXXX）：プリンター名 [IP アドレス（固定）]　：IP アドレス：プリンター名 [DNS 登録名]　：ホスト名（DNS 登録済み）：プリンター名 [MS Network]　：ホスト名（NetBIOS）：プリンター名
モデル名		プリンター名を表示します。
名前または IP アドレス		［ポートタイプ選択］で選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス（自動）]　：ホスト名（ネットワークインターフェイス名 EPXXXXXX） [IP アドレス（固定）]　：IP アドレス [DNS 登録名]　：ホスト名（DNS 登録済み） [MS Network]　：ホスト名（NetBIOS）
プロトコル		使用プロトコル（拡張 LPR）を表示します。

8 **印刷先のポートを確認して、[OK] または [適用] をクリックします。**

以上で終了です。

印刷方法を設定するときは、以下に進んでください。

☞ 21 ページ「印刷方式の設定」

Windows 95/Windows 98/Windows Me 以外の Windows での設定

プリンターポート（EpsonNet Print Port）を作成した後、プリンタードライバーをインストールします。

プリンターポートの作成

1 **［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

Windows 7：
［ ］－［デバイスとプリンター］の順にクリック

Windows Vista/Windows Server 2008：
［ ］（または［スタート］）－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリック

Windows NT4.0/Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック

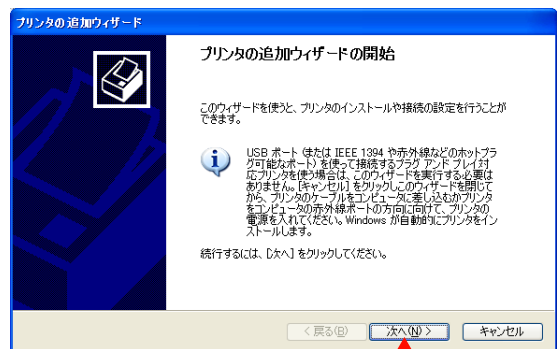
2 **［プリンタを追加する］をクリックします。**
［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されます。

Windows 7：
［プリンターの追加］をクリック、手順 4 へ進む

Windows Vista：
［プリンタのインストール］をクリック、手順 4 へ進む

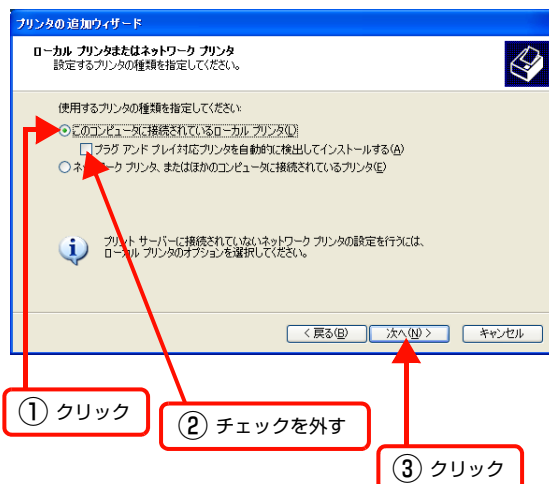
Windows 2000：
［プリンタの追加］アイコンをダブルクリック

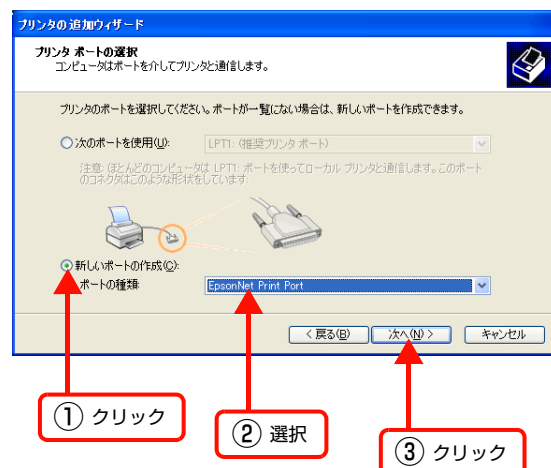
Windows NT4.0/Windows Server 2008：
［プリンタの追加］アイコンをダブルクリック、手順 4 へ進む

3 **［プリンタの追加ウィザード］画面で、［次へ］をクリックします。**

4 **[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して、[次へ] をクリックします。**

Windows Vista/Windows Server 2008/ Windows 7：
[ローカルプリンターを追加します] をクリック

Windows 2000：
[ローカルプリンタ] を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外して、[次へ] をクリック

Windows NT4.0：
[このコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリック

5 **[新しいポートの作成] を選択します。[EpsonNet Print Port] を選択して、[次へ] をクリックします。**
お使いの Windows によっては [Windows セキュリティの重要な警告] 画面が表示されます。[ブロックを解除する] または [アクセスを許可する] をクリックしてください。

Windows NT4.0：
[ポートの追加] をクリック、表示される [プリンタポート] 画面で [EpsonNet Print Port] を選択して、[新しいポート] をクリック

6 **プリンターをクリックして、[次へ] をクリックします。**
プリンターが表示されないときは、プリンターまたはプリントアダプターの電源が入っているか確認して [再検索] をクリックするか、[ポート直接入力] をクリックしてアドレスを指定してください。

参考

- [ポート直接入力] の詳細は、以下を参照してください。
  ☞ 20 ページ「アドレスを直接指定」
- 別セグメントのネットワークプリンターを指定するときは、[ネットワーク設定] をクリックして設定します。
  ☞ 19 ページ「探索方法の変更」
- [ネットワーク設定] をクリックして設定を変更したときやポートの追加中にプリンターの電源を入れたときは、[再検索] をクリックしてください。
- 手順 5 で表示された [Windows セキュリティの重要な警告] 画面で [ブロックする] または [キャンセル] を選択したときは、コンピューターと同じセグメントにあるネットワークアドレスのプリンターのみを表示します。異なるネットワークアドレスのプリンターを表示したいときは、[コントロールパネル] の [Windows ファイアウォール] で設定を変更してください。

7 画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。

[ポートタイプ選択] でポートタイプを選択できます。通常変更する必要はありません。各項目の説明は下表を参照してください。

項目名		内容
[ポートタイプ選択] リスト		作成するポートのタイプを選択できます。通常は変更の必要はありません。 ネットワークインターフェイスの設定に応じて、以下の項目が選択できます。
	IP アドレス(自動)	使用するコンピューターとプリンターが同一セグメント内にあるときに選択できます。ネットワークインターフェイスの [IP アドレスの取得方法] が [自動] のときに選択することをお勧めします。 ネットワークインターフェイスの IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピューターのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス(固定)	ネットワークインターフェイスが固定アドレスのときに選択することをお勧めします。
	DNS 登録名	DNS サーバーにネットワークインターフェイスのホスト名が登録されているときに選択できます。
	MS Network	Microsoft ネットワーク共有(Net BEUI)で使用しているときに選択できます。
ポート名		[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス(自動)] : ホスト名(ネットワークインターフェイス名 EPXXXXXX):プリンター名 [IP アドレス(固定)] : IP アドレス:プリンター名 [DNS 登録名] : ホスト名(DNS 登録済み):プリンター名 [MS Network] : ホスト名(NetBIOS):プリンター名
モデル名		プリンター名を表示します。
名前または IP アドレス		[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス(自動)] : ホスト名(ネットワークインターフェイス名 EPXXXXXX) [IP アドレス(固定)] : IP アドレス [DNS 登録名] : ホスト名(DNS 登録済み) [MS Network] : ホスト名(NetBIOS)
プロトコル		使用プロトコル(拡張 LPR)を表示します。

8 Windows NT4.0 の場合は、以下の手順でプリンターポートの設定を続けます。

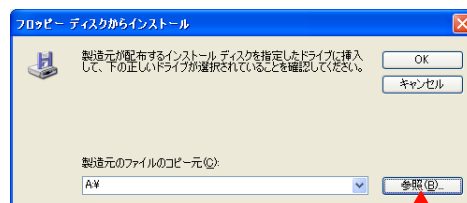
① [プリンタポート] 画面で、[閉じる] をクリックします。
② [プリンタの追加ウィザード] 画面で、「利用可能なポート」が、選択した [EpsonNet Print Port] にチェックが付いていることを確認して、[次へ] をクリックします。

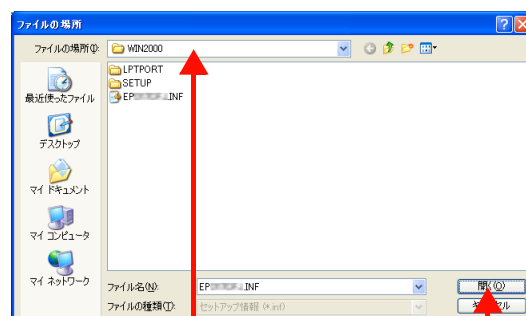
[プリンタの追加ウィザード] または [プリンタウィザード] 画面を開いた状態で、次の「プリンタードライバーのインストール」へ進みます。

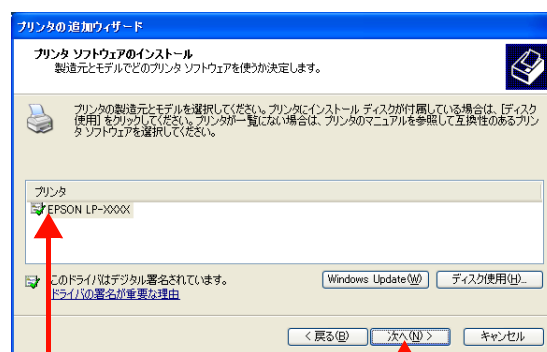
プリンタードライバーのインストール

1 **プリンターに添付されている「ソフトウェア CD-ROM」をコンピューターにセットします。**
画面が表示されたら、[終了]または[インストール中止]をクリックして画面を閉じてください。

2 **[プリンタの追加ウィザード]または[プリンタウィザード]などの画面で[ディスク使用]をクリックします。**

3 **[フロッピーディスクからインストール]画面が表示されたら、[参照]をクリックします。**

4 **手順1でセットしたCD-ROM内の各OSのプリンタードライバーのフォルダーを選択して、[開く]をクリックします。**
CD-ROM ドライブまたは以下のフォルダーを選択します。
(例)

OS 環境	選択するフォルダー名
Windows NT4.0	WINNT40
Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008 Windows 7	WIN2000/WINXP_2K WINVISTA_XP_2K WINX86
64bit 対応版	WINVISTA_XP64 WINX64

5 **[フロッピーディスクからインストール]画面に戻りますので、[OK]をクリックします。**

6 **プリンターの一覧からお使いの機種名を選択し、[次へ]をクリックします(画面は例です)。**

この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

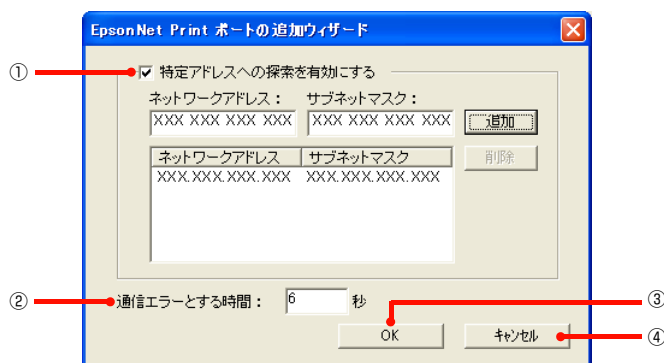
- プリンターをネットワーク共有するときは、この後で設定する共有名をクライアントコンピューターの使用者に知らせてください。クライアントコンピューターからプリンターを利用するときに必要です。
- この後［デジタル署名が見つかりませんでした］という画面が表示されたときは、［続行］または［はい］をクリックしてください。
- EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしたいときは、プリンターのマニュアルを参照してください。

以上で終了です。

印刷方法を設定するときは、以下に進んでください。

☞ 21 ページ「印刷方式の設定」

探索方法の変更

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］で［ネットワーク設定］をクリックすると表示される次の画面について説明します。

	項目名		内容
①	特定のアドレスへの探索を有効にする		チェックを付けると指定したセグメント内のエプソン製プリンターを探索できます。［ネットワークアドレス］と［サブネットマスク］を入力して、［追加］をクリックします。
		ネットワークアドレス	探索するセグメントの IP アドレスを入力します。 例）192.168.2.0
		サブネットマスク	探索するセグメントのネットワークアドレスのクラスに応じたサブネットマスクを入力します。 例）255.255.255.0
		［追加］	入力されたネットワークセグメント（ネットワークアドレスとサブネットマスク）を一覧に追加します。
		［削除］	一覧で選択された項目を削除します。
②	通信エラーとする時間		エプソン製プリンターに対してパケットを発信してから、返信が届くまでの待機時間を 2 ～ 120（初期値は 6）までの間で設定します。ここで設定した時間を超えて返信がないときはエラーになります。
③	［OK］		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］		設定を取り消して、画面を閉じます。

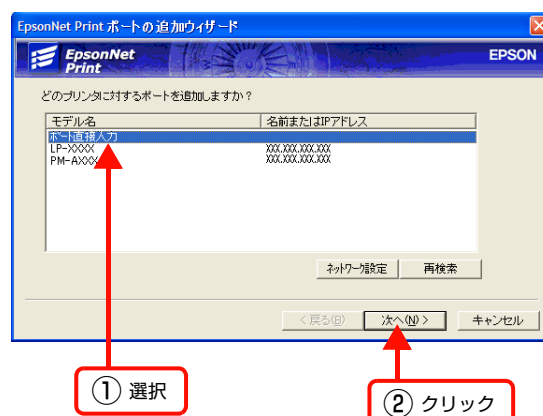
EpsonNet Print をインストールしたコンピューターがクラス B ネットワークアドレス（128.0.0.0 ～ 191.255.255.255）で設定されていると、クラス C ネットワークアドレス（192.0.0.0 ～ 223.255.255.255）で設定したネットワークプリンターが検索されないことがあります。このようなときはプリンターの IP アドレスを直接入力してポートを作成してください。

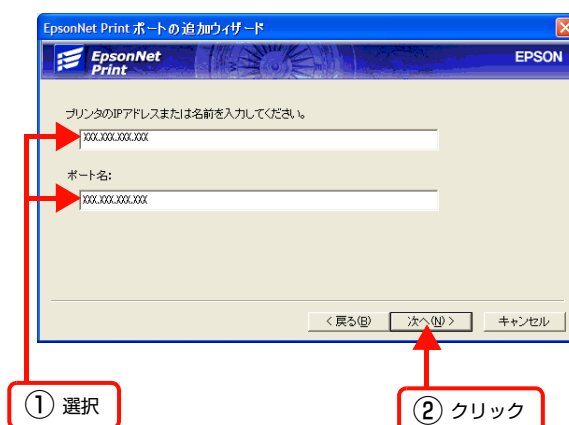
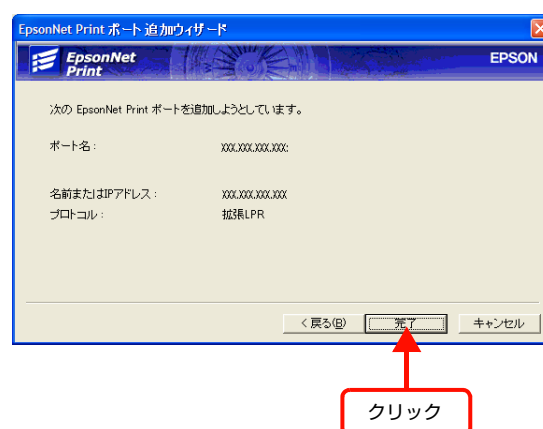
☞ 20 ページ「アドレスを直接指定」

アドレスを直接指定

固定アドレスを設定しているプリンターや、ローカルエリアネットワークの事情でネットワークプリンターの検索でも表示されない固定アドレスを持つプリンターなどは、［ポート直接入力］を使用してポートを作成します。

！重要　アドレスを自動取得しているプリンターには、この機能を使用しないでください。

1　**［ポート直接入力］を選択して、［次へ］をクリックします。**

2　**以下の表を参考に、各項目を設定して［次へ］をクリックします。**

項目名	内容
プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。	プリンターを指定するための IP アドレス／ホスト名／ FQDN のいずれかを、半角英数 127 文字以内で入力します。
ポート名：	［プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。］に入力した文字列に「：」を付加し、自動的に表示します。また、任意のポート名に変更することもできます。半角英数字で 128 文字以内で入力します。Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合は、2 文字以上入力しないとエラーになります。

3　**画面の内容を確認して、［完了］をクリックします。**

以上で終了です。

印刷方式の設定

印刷データの送信方法などが設定できます。

1 **［スタート］ － ［プリンタと FAX］ の順にクリックします。**

Windows 7：
［ ］ － ［デバイスとプリンター］ の順にクリック

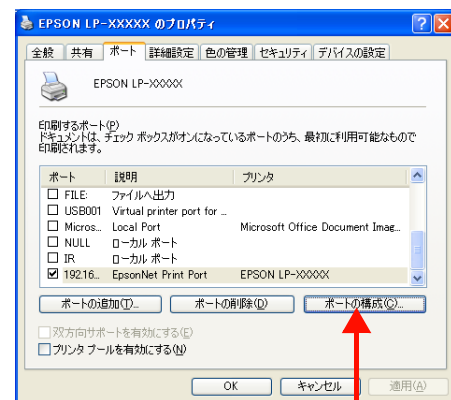
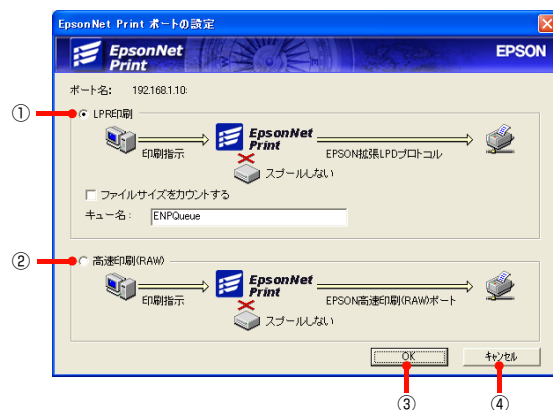
Windows Vista/Windows Server 2008：
［ ］（または ［スタート］） － ［コントロールパネル］ － ［プリンタ］ の順にクリック

上記以外の Windows（Windows Server 2003 を除く）：
［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］ の順にクリック

2 **プリンターアイコンを右クリックし、［プロパティ］（または ［プリンターのプロパティ］）を選択します。**

Windows Vista:
プリンターアイコンを右クリックし、［管理者として実行］ － ［プロパティ］ を選択

3 **プロパティーの画面で、［ポート］ タブの ［ポートの構成］ をクリックします。**

Windows 95/Windows 98/Windows Me：
プロパティー画面－ ［詳細］ タブ－ ［ポートの設定］ をクリック

4 **用途により印刷方式を切り替えます。**

	項目名		内容
①	LPR 印刷		EPSON 拡張 LPD プロトコル（拡張印刷）を使用して、印刷データを直接プリンターに送信します。「ファイルサイズをカウントする」にチェックを付けるとより高速に印刷できます。
		ファイルサイズをカウントする	チェックを付けると、LPD プロトコルを使用して、印刷データをコンピューターに一旦スプールしてからプリンターに送信します。
		キュー名	印刷キューに名前を付けられます。 通常は変更する必要はありません。
②	高速印刷（RAW）		最も高速に印刷するときに、選択します。 LPR 印刷で使用する LPD プロトコルを使わずに印刷します。
③	［OK］		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］		設定を取り消して、画面を閉じます。

以上で終了です。

ソフトウェアライセンス

Info-ZIP copyright and license

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.

The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely and a copy at http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.